

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公表番号】特表 2019-521302 (P2019-521302A)

【公表日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-030

【出願番号】特願 2019-501505 (P2019-501505)

【国際特許分類】

F 1 6 B 2/06 (2006.01)

F 1 6 B 7/04 (2006.01)

F 1 6 B 7/14 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 2/06 A

F 1 6 B 7/04 3 0 1 V

F 1 6 B 7/04 3 0 1 U

F 1 6 B 7/14 E

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

接続装置 (10) を第 1 の物品 (14) に取り付けるための取り付け構成 (26) であって、

前記取り付け構成 (26) は、

前記第 1 の物品 (14) 中の開口部を通して収容可能な取り付け部材 (27) と、

前記接続装置 (10) を前記第 1 の物品 (14) にロックするためのロック構成 (40) と、前記ロック構成 (40) は、前記第 1 の物品 (14) 中の前記開口部によって収容されるように構成されている戻り止め構造 (42) を備え、

を備え、ここにおいて、前記戻り止め構造 (42) は、弾性部材を備え、前記弾性部材は、前記第 1 の物品 (14) 中の前記開口部中に収容可能であり、前記弾性部材は、実質的に V 字型であり、前記 V 字を形成する対向アーム (48, 50) を有するものにおいて、

前記ロック構成 (40) は、前記ロック構成 (40) を前記取り付け構成 (26) 上に据え付けるための据え付け部材 (52) を含み、前記据え付け部材 (52) は、前記アーム (48) のうちの一方に取り付けられ、

ここにおいて、前記取り付け構成 (26) は前記取り付け構成 (26) を固定構成 (25) に締結するための締結要素 (30) を有し、前記据え付け部材 (52) は、前記締結要素 (30) が、前記ロック構成 (40) を前記取り付け構成 (26) 上に据え付けるように通して伸長する、穴を規定し、

前記ロック構成 (40) は、前記アーム (48, 50) を互いに対して動かすことを促進するように、前記アーム (50) のうちの他方に取り付けられている解放タブ (44) をさらに含む、

取り付け構成 (26)。

【請求項 2】

前記取り付け構成(26)が前記取り付け位置に動かされるとき、前記据え付け部材(52)に取り付けられている前記アーム(48)は、弾性的変形位置から非変形位置に移動可能であり、

前記変形位置から前記非変形位置への前記アーム(48)の移動は、変形位置から非変形位置への前記弾性部材の移動である、請求項1に記載の取り付け構成(26)。

【請求項3】

前記取り付け構成(26)は、取り付け部材(27)を備え、

前記取り付け部材(27)は、前記第1の物品(14)を係合するための第1の突出部(28)と前記第1の物品(14)を通した挿入のための第2の突出部(32)とを備え、それにより、前記第2の突出部(32)が前記第1の物品(14)を通して挿入されるとき、前記第1の物品(14)の領域は、前記第1及び第2の突出部(28, 32)間に収容されることができ、それによって、前記接続装置(10)を前記第1の物品(14)に取り付ける、請求項1又は2に記載の取り付け構成(26)。

【請求項4】

前記締結要素(30)は、前記第1の突出部(28)と前記固定構成(25)との間に伸長し、前記第1の突出部(28)は、前記第1の物品(14)の前記領域の第1の面を係合し、前記第2の突出部(32)は、前記第1の物品(14)の前記領域の対向する第2の面を係合する、請求項3に記載の取り付け構成(26)。

【請求項5】

前記取り付け構成(26)は、前記第1及び第2の突出部(28, 32)を通して伸長する回転軸(R)を有し、

前記取り付け構成(26)は、前記接続装置(10)を前記第1の物品(14)に取り付けるために、前記軸の周りを、取り付け位置に回転可能であり、

それにより、前記取り付け構成(26)が前記回転軸(R)の周りを回転するとき、前記戻り止め構造(42)は、前記開口部内に収容され、

前記取り付け構成(26)がこのように回転するとき、前記第1の物品(14)の領域は、前記第1及び第2の突出部(28, 32)間に収容されることができ、請求項3又は4に記載の取り付け構成(26)。

【請求項6】

前記第2の突出部(32)は、先端面と固定領域を有し、

前記取り付け構成(26)が前記取り付け位置に回転されるとき、前記先端面は、前記第1の物品(14)の前述の領域を横切るための前記第2の突出部(32)の第1の領域であり、

前記取り付け構成(26)が前記取り付け位置にあるとき、前記第2の突出部(32)は、前記第1の物品(14)を係合するための取り付け面を有する、請求項5に記載の取り付け構成(26)。

【請求項7】

前記取り付け部材(27)は、前記第1及び第2の突出部(28, 32)の間に伸長するスペーサ部(34)と、前記第1及び第2の突出部(28, 32)の間に規定される間隙(36)をさらに含み、前記間隙(36)は、前記取り付け面でよりも前記先端面においてより大きく、前記先端面は、前記取り付け面に向かって先細である、請求項6に記載の取り付け構成(26)。

【請求項8】

前記第1及び第2の突出部(28, 32)は、前記締結要素(30)から外側に伸長し、

前記第2の突出部(32)は、それに対して反対方向に前記スペーサ部(34)から伸長する、請求項7に記載の取り付け構成(26)。

【請求項9】

前記第1の突出部(28)は、前記締結要素(30)から放射状に伸長し、実質的に円形であり、

前記第 2 の突出部 (32) は、その長さよりも長い幅を有する実質的に長方形である、請求項 8 に記載の取り付け構成 (26)。

【請求項 10】

前記スペーサ部 (34) は、前記取り付け構成 (26) の一方向への回転を防止するための停止構造を有する、請求項 7 から 9 のうちのいずれか 1 項に記載の取り付け構成 (26)。

【請求項 11】

前記停止構造は、前記スペーサ部 (34) の対角線上に対向する領域を備え、

前記領域間の距離は、開口部の幅よりも長い、請求項 10 に記載の取り付け構成 (26)。

【請求項 12】

前記スペーサ部 (34) は、前記第 1 の物品 (14) に対する前記取り付け構成 (26) の回転を可能にするための曲がった縁部を有し、

前記スペーサ部 (34) は、直径に対向する曲がった縁部を有し、

前記曲がった縁部間の直径距離は、前記第 1 の物品 (14) における前記開口部の幅よりも短い、請求項 7 から 11 のうちのいずれか 1 項に記載の取り付け構成 (26)。

【請求項 13】

第 1 の物品 (14) を細長い第 2 の物品 (24) に接続するための接続装置 (10) であって、

前記接続装置 (10) は、前記細長い第 2 の物品 (24) に固定するための固定構成 (25) と、請求項 1 から 12 のうちのいずれか 1 項に記載された取り付け構成 (26) とを備える、接続装置 (10)。

【請求項 14】

接続装置 (10) と第 1 の物品 (14) を備える接続構成 (12) であって、

前記接続装置 (10) は、

前記接続装置 (10) を細長い第 2 の物品 (24) に固定するための固定構成 (25) と、請求項 1 から 12 のうちのいずれか 1 項に記載された取り付け構成 (26) とを備える、接続構成 (12)。

【請求項 15】

第 1 の物品 (14) を細長い第 2 の物品 (24) に接続する方法であって、

前記方法は、

請求項 14 に記載されている接続構成 (12) を提供することと、

前記第 1 の物品 (14) 中の開口部を通して前記取り付け構成 (26) を挿入することと、

前記接続装置 (10) を前記第 1 の物品 (14) にロックするために、前記第 1 の物品 (14) 中の前記開口部中に前記戻り止め構造 (42) を構成することとを備え、

ここにおいて、前記方法は、弾性部材が収容されている前記開口部から前記弾性部材を解放するために、そこに取り付けられている前記アーム (50) を非変形位置から変形位置に動かすための前記タブを操作することを備える、方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

本発明の範囲から逸脱することなく、さまざまな修正を行うことができる。
例えば、他の適切なタイプの固定構成を固定構成 25 の代わりに使用できる。

以下に、出願当初の特許請求の範囲に記載の事項を、付記する。

[1] 接続装置を第 1 の物品に取り付けるための取り付け構成であって、

前記取り付け構成は、前記第 1 の物品中の開口部を通して収容可能であり、

前記取り付け構成は、前記接続装置を前記第 1 の物品にロックするためのロック構成を備え、

前記ロック構成は、前記第 1 の物品中の開口部によって収容されるように構成されている戻り止め構造を備える、取り付け構成。

〔 2 〕 前記戻り止め構造は、弾性部材を備え、

前記弾性部材は、前記第 1 の物品中の開口部中に収容可能である、〔 1 〕に記載の取り付け構成。

〔 3 〕 前記弾性部材は、実質的に V 字型であり、前記 V 字を形成する対向アームを有する、〔 2 〕に記載の取り付け構成。

〔 4 〕 前記アームは、互いから離れて、及び、互いに対して、弾性的に変形可能である、〔 3 〕に記載の取り付け構成。

〔 5 〕 前記ロック構成は、前記ロック構成を前記取り付け構成上に据え付けるための据え付け部材を含み、

前記据え付け部材は、前記アームのうちの一方に取り付けられている、〔 3 〕又は〔 4 〕に記載の取り付け構成。

〔 6 〕 前記取り付け構成が前記取り付け位置に動かされるとき、前記据え付け部材に取り付けられている前記アームは、弾性的変形位置から非変形位置に移動可能であり、

前記変形位置から前記非変形位置への前記アームの移動は、変形位置から非変形位置への前記弾性部材の移動である、〔 5 〕に記載の取り付け構成。

〔 7 〕 前記ロック構成は、前記アームを互いに対して動かすことを促進するように、前記アームのうちの他方に取り付けられている解放タブをさらに含む、〔 5 〕又は〔 6 〕に記載の取り付け構成。

〔 8 〕 前記据え付け部材は、前記取り付け構成の一部が伸長できる穴を規定し、前記取り付け構成は、前記取り付け構成を固定構成に締結するための締結要素を有し、前記締結要素は、前記ロック構成を前記取り付け構成上に据え付けるように、前記穴を通して伸長する、〔 5 〕、〔 6 〕、又は〔 7 〕に記載の取り付け構成。

〔 9 〕 前記取り付け構成は、取り付け部材を備え、

前記取り付け部材は、前記第 1 の物品に係合するための第 1 の突出部と前記第 1 の物品を通した挿入のための第 2 の突出部とを備え、

それにより、前記第 2 の突出部が前記第 1 の物品を通して挿入されるとき、前記第 1 の物品の領域は、前記第 1 及び第 2 の突出部間に収容されることができ、それによって、前記接続装置を前記第 1 の物品に取り付ける、〔 8 〕に記載の取り付け構成。

〔 10 〕 前記締結要素は、前記第 1 の突出部と前記固定構成との間に伸長する、〔 9 〕に記載の取り付け構成。

〔 11 〕 前記締結要素は、前記固定構成上の対応するねじと協同するようにねじ留めされる、〔 10 〕に記載の取り付け構成。

〔 12 〕 前記第 1 の突出部は、前記第 1 の物品の前記領域の第 1 の面に係合し、

前記第 2 の突出部は、前記第 1 の物品の前記領域の対向する第 2 の面に係合する、〔 9 〕、〔 10 〕、又は、〔 11 〕に記載の取り付け構成。

〔 13 〕 前記取り付け構成は、前記第 1 及び第 2 の突出部を通して伸長する回転軸を有し、

前記取り付け構成は、前記接続装置を前記第 1 の物品に取り付けるために、前記軸の周りを、取り付け位置に回転可能であり、

それにより、前記取り付け構成が前記回転軸の周りを回転するとき、前記戻り止め構造は、前記開口部内に収容され、

前記取り付け構成がこのように回転するとき、前記第 1 の物品の領域は、前記第 1 及び第 2 の突出部間に収容されることができ、〔 9 〕から〔 12 〕のうちのいずれか 1 項に記載の取り付け構成。

〔 14 〕 前記第 2 の突出部は、先端面と固定領域を有し、

前記取り付け構成が前記取り付け位置に回転されるとき、前記先端面は、前記第 1 の物品の前述の領域を横切るための前記第 2 の突出部の第 1 の領域であり、

前記取り付け構成が前記取り付け位置にあるとき、前記第 2 の突出部は、前記第 1 の物品に係合するための取り付け面を有する、[1 3] に記載の取り付け構成。

[1 5] 前記取り付け部材は、前記第 1 及び第 2 の突出部の間に伸長するスペーサ部と、前記第 1 及び第 2 の突出部の間に規定される間隙をさらに含む、[1 4] に記載の取り付け構成。

[1 6] 前記第 1 及び第 2 の突出部は、前記締結要素から外側に伸長し、前記第 2 の突出部は、それに対して反対方向に前記スペーサ部から伸長する、[1 5] に記載の取り付け構成。

[1 7] 前記第 1 の突出部は、前記締結要素から放射状に伸長し、実質的に円形であり、

前記第 2 の突出部は、その長さよりも長い幅を有する実質的に長方形である、[1 6] に記載の取り付け構成。

[1 8] 前記スペーサ部は、前記取り付け構成の一方方向への回転を防止するための停止構造を有する、[1 5] から [1 7] のうちのいずれか 1 項に記載の取り付け構成。

[1 9] 前記取り付け構成が前述の方向に回転するとき、前記停止構造は、前記第 1 の物品に係合するように構成されている前記スペーサ部の領域を備える、[1 8] に記載の取り付け構成。

[2 0] 前記停止構造は、前記スペーサ部の対角線上に対向する領域を備え、前記領域間の距離は、開口部の幅よりも長い、[1 9] に記載の取り付け構成。

[2 1] 前記スペーサ部は、前記第 1 の物品に対する前記取り付け構成の回転を可能にするための曲がった縁部を有し、

前記スペーサ部は、直径に対向する曲がった縁部を有し、

前記曲がった縁部間の直径距離は、前記第 1 の物品における前記開口部の幅よりも短い、[1 5] から [2 0] のうちのいずれか 1 項に記載の取り付け構成。

[2 2] 第 1 の物品を細長い第 2 の物品に接続するための接続装置であって、前記接続装置は、前記接続装置を前記細長い第 2 の物品に固定するための固定構成と、前記接続装置を前記第 1 の物品に取り付けるための取り付け構成とを備え、前記取り付け構成は、前記第 1 の物品中の開口部を通して収容可能であり、前記取り付け構成は、前記接続装置を前記第 1 の物品にロックするためのロック構成を備え、

前記ロック構成は、前記第 1 の物品中の開口部によって収容されるように構成されている戻り止め構造を備える、接続装置。

[2 3] 前記取り付け構成は、[1] から [2 1] のうちのいずれか 1 項に記載されているものである、[2 2] に記載の接続装置。

[2 4] 接続装置と第 1 の物品を備える接続構成であって、

前記接続装置は、

前記接続装置を細長い第 2 の物品に固定するための固定構成と、

前記接続装置を前記第 1 の物品に取り付けるための取り付け構成とを備え、

前記取り付け構成は、前記第 1 の物品中の開口部を通して収容可能であり、

前記取り付け構成は、前記接続装置を前記第 1 の物品にロックするためのロック構成を備え、

前記ロック構成は、前記第 1 の物品中の開口部によって収容されるように構成されている戻り止め構造を備える、接続構成。

[2 5] 前記第 1 の物品に取り付けられることができる、複数の接続装置を備える、

[2 4] に記載の接続構成。

[2 6] 前記第 1 の物品は、細長い支持体を備える、[2 4] 又は [2 5] に記載の接続構成。

〔 2 7 〕 前記戻り止め構造は、弾性部材を備え、
前記弾性部材は、前記第 1 の物品中の開口部中に収容可能である、〔 2 4 〕、〔 2 5 〕
、又は、〔 2 6 〕に記載の接続構成。

〔 2 8 〕 前記弾性部材は、実質的に V 字型であり、前記 V 字を形成する対向アームを
有する、〔 2 7 〕に記載の接続構成。

〔 2 9 〕 前記アームは、互いから離れて、及び、互いに対して、弾性的に変形可能で
ある、〔 2 8 〕に記載の接続構成。

〔 3 0 〕 前記ロック構成は、前記ロック構成を前記取り付け構成上に据え付けるため
の据え付け部材を含み、

前記据え付け部材は、前記アームのうちの一方に取り付けられている、〔 2 8 〕又は〔
2 9 〕に記載の接続構成。

〔 3 1 〕 前記取り付け構成が前記取り付け位置に動かされるとき、前記据え付け部材
に取り付けられている前記アームは、弾性的変形位置から非変形位置に移動可能であり、
前記変形位置から前記非変形位置への前記アームの移動は、変形位置から非変形位置へ
の前記弾性部材の移動である、〔 3 0 〕に記載の接続構成。

〔 3 2 〕 前記ロック構成は、前記アームを互いに対して動かすことを促進するように
、前記アームのうちの他方に取り付けられている解放タブをさらに含む、〔 3 0 〕又は〔
3 1 〕に記載の接続構成。

〔 3 3 〕 前記据え付け部材は、前記取り付け構成の一部分が伸長できる穴を規定し、
前記取り付け構成は、前記取り付け構成を固定構成に締結するための締結要素を有し、
前記締結要素は、前記ロック構成を前記取り付け構成上に据え付けるように、前記穴を
通して伸長する、〔 3 0 〕、〔 3 1 〕、又は〔 3 2 〕に記載の接続構成。

〔 3 4 〕 前記取り付け構成は、取り付け部材を備え、
前記取り付け部材は、前記第 1 の物品を係合するための第 1 の突出部と前記第 1 の物品
を通した挿入のための第 2 の突出部とを備え、

それにより、前記第 2 の突出部が前記第 1 の物品に挿入されるとき、前記第 1 の物品の
領域は、前記第 1 及び第 2 の突出部間に収容されることができ、それによって、前記接続
装置を前記第 1 の物品に取り付ける、〔 3 3 〕に記載の接続構成。

〔 3 5 〕 前記締結要素は、前記第 1 の突出部と前記固定構成との間に伸長する、〔 3
4 〕に記載の接続構成。

〔 3 6 〕 前記締結要素は、前記固定構成上の対応するねじと協同するようにねじ留め
される、〔 3 5 〕に記載の接続構成。

〔 3 7 〕 前記第 1 の突出部は、前記第 1 の物品の前記領域の第 1 の面を係合し、
前記第 2 の突出部は、前記第 1 の物品の前記領域の対向する第 2 の面を係合する、〔 3
4 〕、〔 3 5 〕、又は、〔 3 6 〕に記載の接続構成。

〔 3 8 〕 前記取り付け構成は、前記第 1 及び第 2 の突出部を通して伸長する回転軸を
有し、

前記取り付け構成は、前記接続装置を前記第 1 の物品に取り付けるために、前記軸の周
りを、取り付け位置に回転可能であり、

それにより、前記取り付け構成が前記回転軸の周りを回転するとき、前記戻り止め構造
は、前記開口部内に収容され、

前記取り付け構成がこのように回転するとき、前記第 1 の物品の領域は、前記第 1 及び
第 2 の突出部間に収容されることができ、〔 3 4 〕から〔 3 7 〕のうちのいずれか 1 項
に記載の接続構成。

〔 3 9 〕 前記第 2 の突出部は、使用する際に、前記開口部を通して挿入されてよい、
〔 3 4 〕から〔 3 8 〕のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

〔 4 0 〕 前記第 1 の物品は、開口部を規定する主要部を備え、
前記第 2 の突出部は、前記開口部を通して挿入可能であり、

前記第 2 の突出部が前記開口部を通して挿入されるとき、前記第 1 の物品の領域は、前
記第 1 及び第 2 の突出部の間に収容され、

それにより、前記接続装置を前記第 1 の物品に取り付ける、[34] から [39] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[41] 前記第 2 の突出部が前記第 1 の物品を通して挿入されるとき、前記第 1 の物品の前述の領域は、前記取り付け構成が前記取り付け位置へと回転すると、前記第 1 及び第 2 の突出部の間に収容される、[34] から [40] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[42] 前記第 2 の突出部は、前記第 1 の突出部にわたって伸長する、[34] から [41] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[43] 前記取り付け構成は、前記第 1 及び第 2 の突出部を通して伸長する回転軸の周りを、前記取り付け位置に回転でき、それによって、前記取り付け構成が前記回転軸の周りを回転するとき、前記第 1 の物品の領域は第 1 及び第 2 の突出部の間に収容される、[34] から [42] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[44] 前記取り付け構成の回転は、前述の回転軸の周りを接続装置が回転することによってもたらしることができる、[43] に記載の接続構成。

[45] 前記第 2 の突出部は、先端面と固定領域を有し、
前記取り付け構成が前記取り付け位置に回転されるとき、前記先端面は、前記第 1 の物品の前述の領域を横切るための前記第 2 の突出部の第 1 の領域であり、
前記取り付け構成が前記取り付け位置にあるとき、前記第 2 の突出部は、前記第 1 の物品に係合するための取り付け面を有する、[34] から [44] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[46] 前記取り付け部材は、前記第 1 及び第 2 の突出部の間に伸長するスペーサ部と、前記第 1 及び第 2 の突出部の間に規定される間隙をさらに含む、[45] に記載の接続構成。

[47] 前記第 1 及び第 2 の突出部は、前記締結要素から外側に伸長し、
前記第 2 の突出部は、それに対して反対方向に前記スペーサ部から伸長する、[46] に記載の接続構成。

[48] 前記第 1 の突出部は、前記締結要素から放射状に伸長し、実質的に円形であり、
前記第 2 の突出部は、その長さよりも長い幅を有する実質的に長方形である、
[47] に記載の接続構成。

[49] 前記スペーサ部は、前記取り付け構成の一方向への回転を防止するための停止構造を有する、[46] から [48] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[50] 前記停止構造は、前記取り付け構成が前述の方向に回転するとき、前記第 1 の物品に係合するように構成されている前記スペーサ部の領域を備える、[49] に記載の接続構成。

[51] 前記停止構造は、前記スペーサ部の対角線上に対向する領域を備え、
前記領域間の距離は、開口部の幅よりも長い、[50] に記載の接続構成。

[52] 前記スペーサ部は、前記第 1 の物品に対する前記取り付け構成の回転を可能にするための曲がった縁部を有し、

前記スペーサ部は、直径に対向する曲がった縁部を有し、
前記曲がった縁部間の直径距離は、前記第 1 の物品における前記開口部の幅よりも短い、
[46] から [51] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[53] 前記間隙は、前記取り付け面においてよりも、前記先端面においてより大きく、前記先端面は、前記取り付け面に向かって先細になる、[46] から [52] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

[54] 前記第 1 の物品における前記開口部は、細長く、前記第 2 の突出部の長さよりも長い長さを有し、

前記第 1 の物品中の前記開口部の幅は、前記第 2 の突出部の幅よりも長く、
前記第 2 の突出部の長さは、前記開口部の幅よりも長い、[34] から [53] のうちのいずれか 1 項に記載の接続構成。

〔５５〕 第１の物品を細長い第２の物品に接続する方法であって、
前記方法は、

〔２４〕に記載されている接続構成を提供することと、

前記第１の物品中の開口部を通して前記取り付け構成を挿入することと、

前記接続装置を前記第１の物品にロックするために、前記第１の物品中の開口部中に前
記戻り止め構造を構成することとを備える、方法。

〔５６〕 前記取り付け構成は、前記接続装置を前記第１の物品に取り付けるために、

前記第１の物品に対して取り付け位置に回転可能であり、

前記取り付け構成がこのように回転するとき、前記戻り止め構造は、前記開口部中に収
容可能であり、

前記方法は、前記戻り止め構造が前記第１の物品中の前記開口部中に收容されるように
、前記取り付け構成を前記第１の物品に対して回転させることを備える、〔５５〕に記載
の方法。

〔５７〕 前記ロック構成は、アームを互いに向けて動かすことを促進するように、前
記アームの他方に取り付けられている解放タブをさらに含み、

前記方法は、弾性部材が收容されている前記開口部から前記弾性部材を解放するために
、そこに取り付けられている前記アームを非変形位置から変形位置に動かすための前記タ
ブを操作することを備える、〔５５〕又は〔５６〕に記載の方法。